

研究タイトル：

近現代期の商業空間からみる市街地形成過程に関する歴史的研究



氏名： 和田 蒔 / Fuki WADA E-mail: fkwada@gifu-nct.ac.jp

職名： 助教 学位： 博士(学術)

所属学会・協会： 日本建築学会、都市史学会、鉄道史学会

キーワード： 商業空間 市街地 小売市場 露店 商店街 郊外

技術相談
提供可能技術：
・商業に関わる建築や都市の歴史調査
・郊外住宅地や市街地形成に関する歴史調査

研究内容：

都市の近代化過程のなかで地域の商業基盤がどのように成立してきたのかを歴史的観点から研究をおこなっています。現在は主に以下の二つの研究に取り組んでいます。

■ 流通の近代化による商業空間の変容に関する研究

わが国の都市の近代化過程においては、行政によってさまざまな施策の実行と制度の導入が行われ、都市経営の合理化・効率化が進められてきました。その過程においては近世からつづく伝統的な集団と行政の管理のせめぎ合いのなかで都市の近代化が進められてきたことが明らかにされつつあります。また、近代という時代においては、それまで伝統的な集団に属していなかった人々も多様な活動や事業を通じて新たに都市のアクターになり、都市形成の担い手になっていったことも考えられます。

本研究では第二次世界大戦前から戦後にかけて立ち現れた商業形態である小売市場や商店街を対象に、建築と都市の形や人物に着目しながら、資料調査やヒアリング調査を通じて、現代の商業盤がどのように形成されていたのかについて検証を行っています。

■ 〈共同研究〉岐阜駅前繊維問屋街の形成に関する歴史的研究

岐阜駅前繊維問屋街の形成とその後の展開過程について他高専・他大学の先生方と共同で研究を行っています。戦後引揚者たちがバラックを建てマーケットを築き、岐阜駅前には既製の製造・販売を行う「繊維問屋街」が形成されました。

共同研究では「繊維問屋街」で働いていた人や既製服製造に従事していた方へのヒアリング調査、建物の実測調査、資料調査を通じて、形成過程を検討し、戦後の都市形成のありようを模索しています。

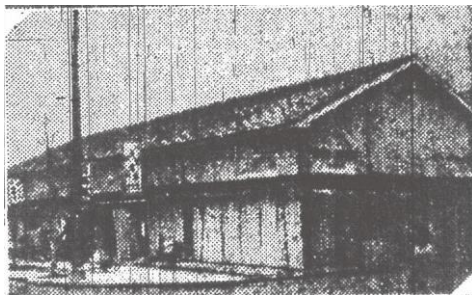


図1 光洋マーケット
（『京都新聞』1950年4月7日2面掲載）



図2 1970年代の出町榎形商店街
（個人蔵）



図3 岐阜駅前繊維問屋街

提供可能な設備・機器：

| 名称・型番(メーカー) | |
|-------------|--|
| | |
| | |
| | |
| | |